スポーツイングランドによる 女性スポーツの取組について

(独)日本スポーツ振興センター 情報・国際部

THIS GIRL CAN

http://www.thisgirlcan.co.uk/

2015年~

初年度予算:1千万ポンド(約17億4千万)

主な財源: 国営くじ基金 対象:14~40歳の女性

MEET THE GIRLS

YOUR STORIES

ACTIVITIES



fyp

FOLLOW US









#fitnessbiogger #fittife #exerciseciass #fitspo #fitnessinspiration #thisgirlcan #workout #inspiration #motivation #fitnessmotivation #fitfam #fitfamuk #norwich #norwichfitness #fit #health #movement

y D





If I can do it anyone can. It's just peddlin' #OtleyCycleClub #TT #TimeTrial #ThisGirlCan #WomensCycling pic.twitter.com/n9VAAb5imL



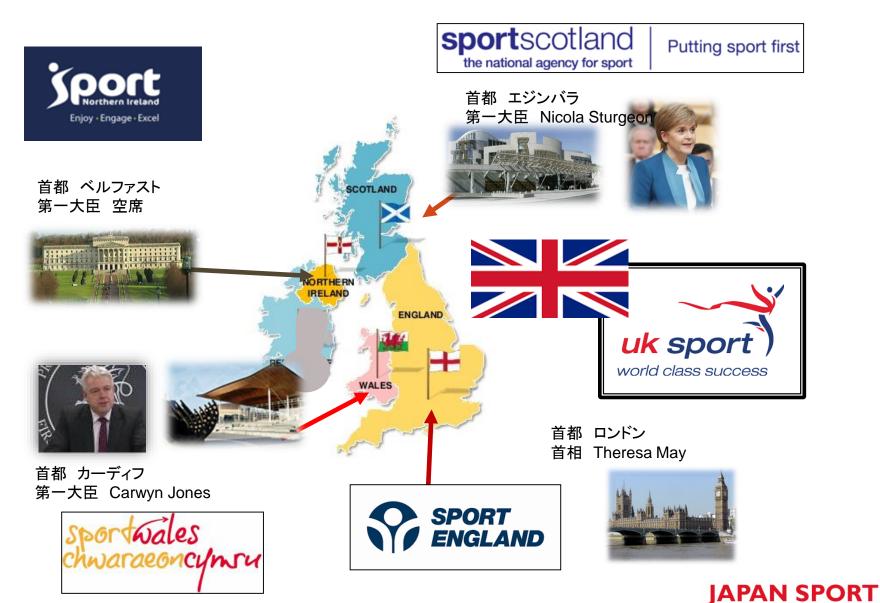


#Badminton #NoLimits #Ladies #Amputee #NoExcuses #BeInspired #GetActive #ThisGirlCan... instagram.com/p/BGbfugVtgi1/

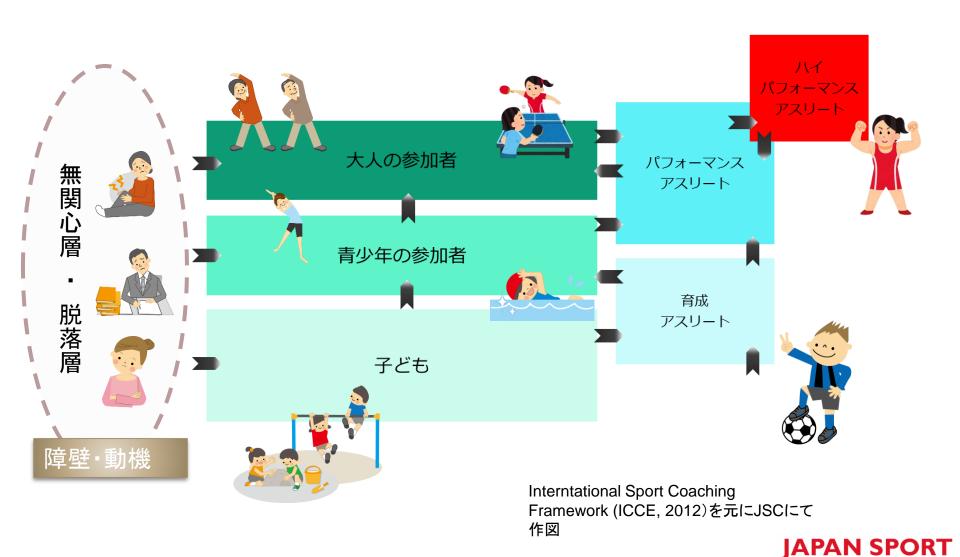


COUNCIL

英国のスポーツ政策構造

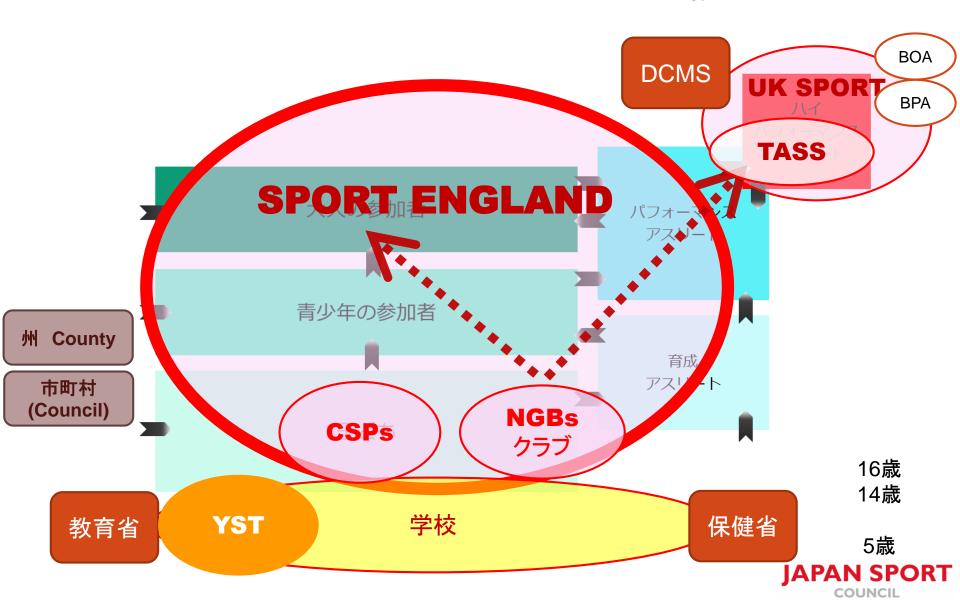


スポーツ参加のパスウェイ



COUNCIL

イングランドにおけるスポーツの構造



スポーツイングランドにおける意志決定 「エビデンスベース」

背景: 確実に効果を上げる必要性



(参考) ソーシャル・マーケティングの具体的手順 ~ 行動変容を起こすために ~

事前準備

戦略決定

プログラム開発

実行

評価

プログラムの課題および目標設定

組織づくり・連携パートナシップ構築

事前調査

対象者のセグメント化・ターゲット決定*

フォーカスグループ(深堀りの調査/ 4 ソ サ 4 ト)

4P(4C)の組み合わせの特定

具体的な介入プログラムの内容決定

パイロットテストの実施(場合によっては評価指標の決定)

介入プログラムの実施・改善

介入プログラムの評価および追跡調査の実施

*プログラム効果をあげるためには、個人の行動変容をうまく導くこと(行動変容ステージ理論)に加え、社会 全体の変革のステージを促すターゲット設定(イノベーション普及理論)も有効とされる。

上地・竹中「行動変容のためのソーシャル・マーケティングの活用」『日本健康教育学会誌』20(2012)を参考にJSCにて作図



対策: 商業マーケティング・行動変容科学の活用

ソーシャル・マーケティング研究所 (2006年~)



行動インサイトチーム / 通称: ナッジユニット (2010年~)

THE
BEHAVIOURAL
INSIGHTS TEAM.

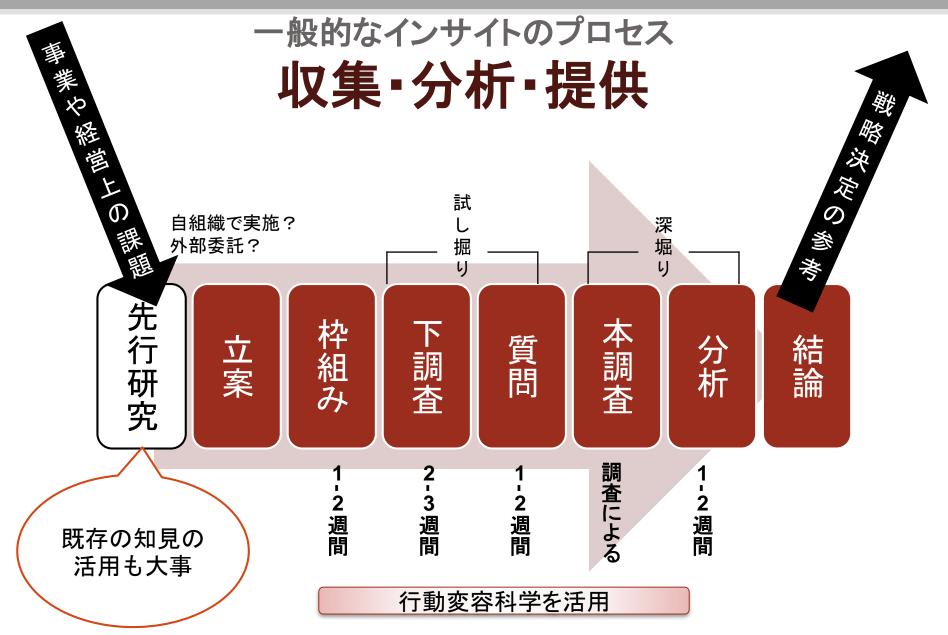


(2013年~)

Insight

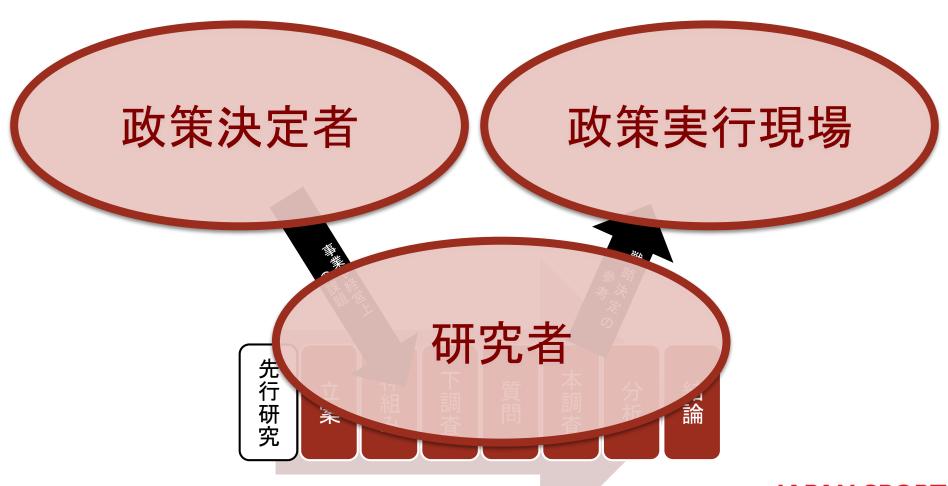
情報・データ/ 研究・評価・分析/行動理解担当/ビジネス連携担当





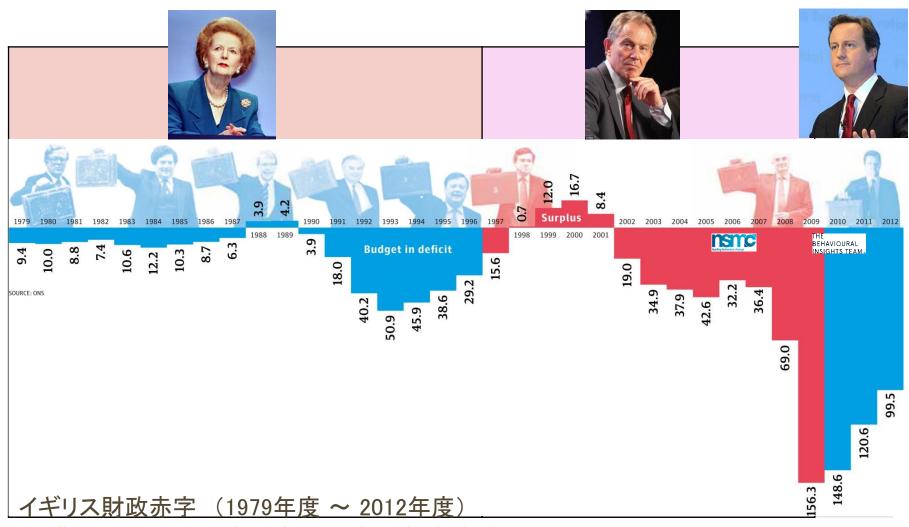
「This Girl Can」 成功の秘密

Lisa O'Keefe (Insight Director, Sport England) によれば...





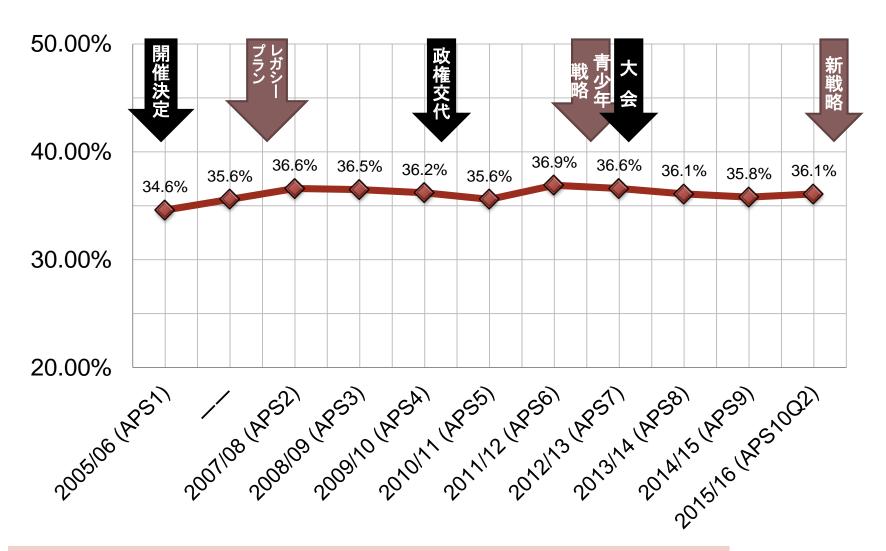
背景① 2010年の政権交代による財政削減



http://www.guardian.co.uk/news/datablog/2010/oct/18/deficit-debt-government-borrowing-data



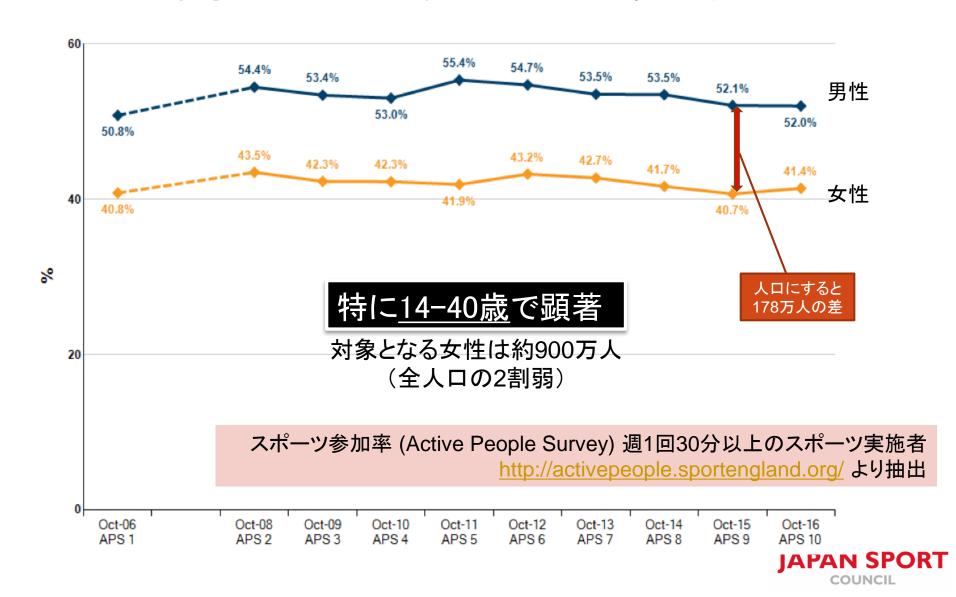
背景② ロンドン2012大会の確実なレガシー形成



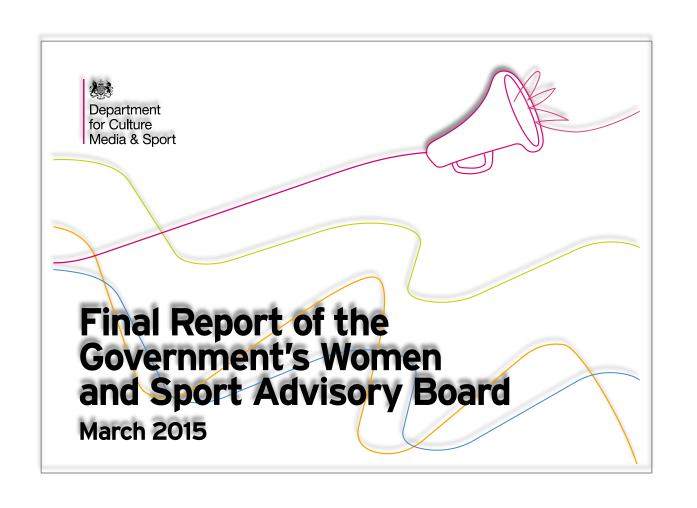
スポーツ参加率 (Active People Survey) 週1回30分以上のスポーツ実施者 http://activepeople.sportengland.org/ より抽出



根強いスポーツ参加における男女格差



背景③ 政府「女性とスポーツ諮問委員会」 (2013.9-2015.3)



「エンパワメント」

参加促進 エリートスポーツ メディア 指導者・団体役員 表彰・認知



インサイト分析

ターゲット層特有の行動特性を「見極め」



スポーツイングランドによる行動決定モデル





筋が発達する

女性がスポーツを敬遠する根源的感情は「判断される恐怖」

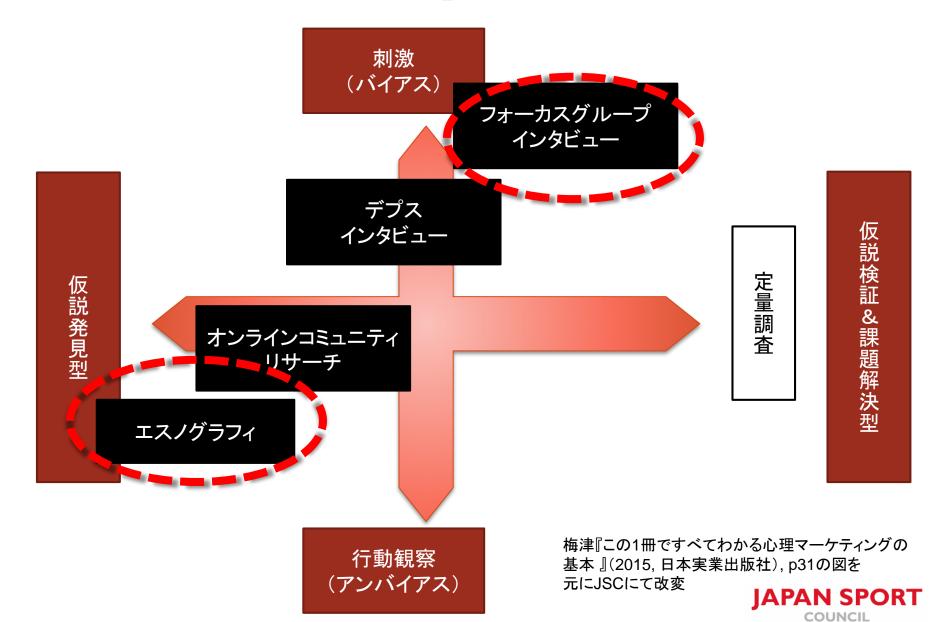
女性のスポーツ参加の誘引・阻害要因を具体的に理解すべく、調査会社に委託し、国内外の女性スポーツに関連する調査研究、学術研究から要因を洗い出し。

判断の障壁

外見 能力 優先順位 汗をかいている フィットではない 家族と過ごす時間は、運動 うまくない に費やす時間よりも重要 顔を赤くしている 競技力が高くない いつもと違う • 友人と過ごす時間は、運動 に費やす時間よりも重要 他の人の前で違う ルールを知らない タイトな服を着ている 用具のことを知らない • 勉強や仕事の時間は、運動 スポーツウェアを着ている 誤った用具を使う に費やす時間よりも重要 誤った服を着ている 集団を控える しなければならないことの時 うますぎる 自身の身体を披露している 間は、運動に費やす時間よ 競技力がすぎると見られる 自分の身体が運動中にどの りも重要 ように見られているか 女性らしくない

これまでも施設やプログラムに対する投資や助成を行ってきたが、<u>女性のことを深く理解し、「感情面」</u>にまで踏みこんだ障壁・誘引に働きかけるプログラム開発が急務であった。

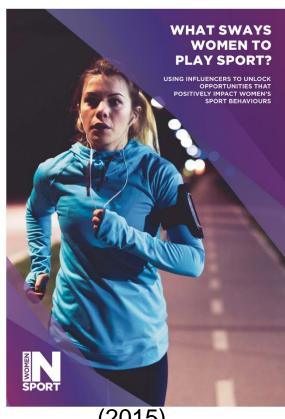
定性調査: 具体的な「深堀り」の方法





(2015)

https://www.sportengland.org/media/3 285/gowherewomenare_final_010620 15final.pdf

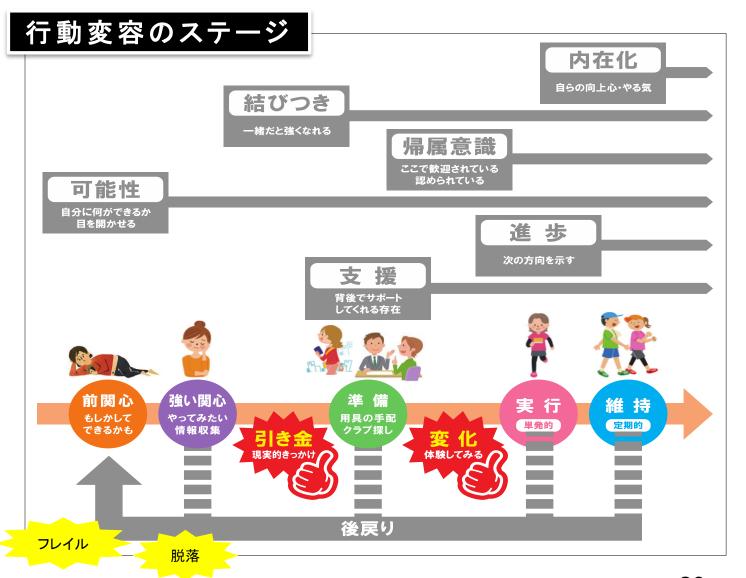


(2015)

https://www.womeninsport.org/wpcontent/uploads/2015/04/What-Sways-Women-To-Play-Sport.pdf



具体的な介入に向け



動機

スポーツに 求めるもの

障壁

スポーツ参加を 阻むもの

インフル エンサー 影響される人・もの

"What Sways women to play sport" (Women in Sport, 2015) を元 に、JSCにて作図



具体的なプログラム展開

地方ではカウンティ・スポーツ・パートナーシップ (CSPs) が主導



https://londonsport.org/

中・高・大学年代にも積極



https://kingston-college.ac.uk/



www.youthsporttrust.org/



初年度評価

キャンペーン終了後

- ※対象年齢女性1,000人をランダムに抽出し、イングランド人口に換算
 - 運動実施率の男女格差が180万人から150万人へと減少。
 - ○対象人口の約7割がキャンペーンを認知、うち半分が何らかの行動に 結びついた。
 - > 何らかの行動をとった(運動以外も含む):370万人(54%)
 - > 身体活動を始めた、増やした: 280万人(41%)
 - > 定期的な運動を開始・再開した: 160万人(24%)
 - You TubeとFacebookの公式ページは3,700万回閲覧され、 関連ハッシュタグは万6千回利用。
 - ツイッターとグーグルでのトレンドは、第2位。
 - 58万1千人の女性がソーシャルメディアにおいてシェア。

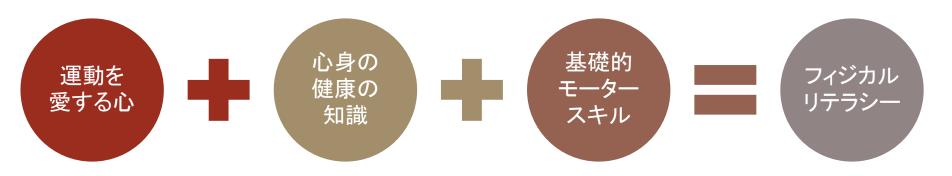


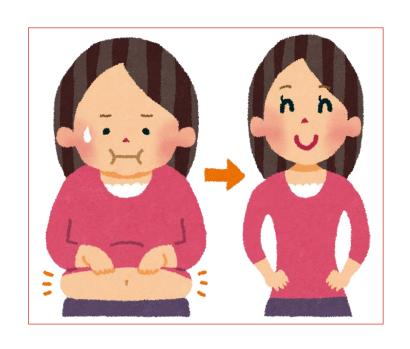
二年目の新たなターゲット





最後に… 内在的な動機の必要性







きっかけとしてはいいけれど...



まとめ

This Girl Can 成功の秘訣

- ○政策決定者、政策実行現場、研究者の緊密な連携
- ○インサイトによる「深堀り」で、女性の二一ズや行動を理解
- ○「女性のいるところに行く」
- ○メッセージ: フィジカルリテラシー

